

事業所名 親子療育CORD 支援プログラム 作成日 2025年 2月 6日

法人（事業所）理念	理念として「新しい子育て文化の普及」を掲げています。子ども達の多様な特性に理解を深め、応用行動分析を基礎とした子育ての新しい解釈によって、皆さまの求めるもの・お困りごとに徹底してお応えしていける事業に取り組んで参ります。		
支援方針	・ABA（応用行動分析）に基づく支援を行う。・NPO法人つみきの会の発達支援プログラム「つみきプログラム」に依拠する。・ことばとコミュニケーション、社会性、身辺自立など、子どもの健全な発達に必要なすべての領域を包括的に支援する。・アセスメントに基づき、一人一人の子どものニーズに合わせた支援をオーダーメイドで行う。・親支援を重視する。		
営業時間	月～土（土は8：30～12：00）	8時30分から12時0分まで	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	衣服の着脱、食事スキル、排泄の自立など、基本的な身辺自立スキルの習得を目指す。	
	運動・感覚	ジャンプ、ケンケン、ボール投げ、ダンス、体操、縄跳びなど、室内でできる運動スキルを中心に年齢に応じて教える。手や指を使う日常的な動作に必要な微細運動スキルの獲得に取り組む。	
	認知・行動	マッチング、身の回りの物事の知識と理解、概念、記憶、思考力などを養う課題や、読み書き計算など学習の基礎スキル、制作・音楽・運動等を通じて認知能力の向上を支援し、様々な活動に活用できることを目指す。また、日常生活や学習に支障のある困った行動を減らすためにABA的介入を行う。	
	言語コミュニケーション	音声指示、物の命名などの課題を通じて、言葉の理解を養う。音声模倣や物の表出的命名などの課題を通じて音声言語の獲得を目指す。音声言語の獲得が困難な場合には、代替コミュニケーションを指導する。	
	人間関係社会性	身体遊びを通じてアタッチメントを形成し、人間関係の基礎を構築する。感覚的な遊びから、ふり、見立て、ごっこ遊びなどの象徴遊びへと発展させることで想像力を養っていく。また、ごっこ遊びなどの関わり遊びからルールや役割のある遊びへの発展を通じて社会性の発達を支援する。気持ち・情動のコントロールや、他者との適切な関わり方を学ぶためのソーシャルスキルトレーニングを必要に応じて実施する。	
家族支援	療育時間中に保護者の同席ないしモニター視聴を推奨し、療育内容やお子様との適切な関わり方をアドバイスする。保護者の悩みや困りごとを聞き対応を助言したり療育の中で対策に取り組む。きょうだい児に関する悩みごとにもアドバイスを行う。保護者向けの講習会を案内する。	移行支援	基本的な学習姿勢を形成し、園での集団生活に必要なスキルの獲得と困った行動への対応を支援する。就学に向けての準備に取り組み、スムーズな移行を目指す。
地域支援・地域連携	各関係機関（園や相談支援事業所、他の通所先）との連携をはかり、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取り組みや支援会議への参加を通して、お子様とご家族が安心して過ごせる環境づくりに努める。	職員の質の向上	施設内研修での講義や実習指導、SVによる定期的な指導、テキスト・動画によるプログラム理解の推進、施設外研修の派遣を行う。
主な行事等	避難訓練（不審者・風水害・地震・火災）の実施		